

名古屋市情報教育研究会 【メールのトラブルにかかわる情報モラルの指導】
総合的な学習の時間 学習指導案

単元名 情報のやりとりと友達関係（1時間完了）

目標 情報社会の中での友達つきあいについて配慮することに気付くことができるようにする。

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報モラルにかかわる 評価の観点と方法	
2分	1 本時の学習内容を知る。	友達関係をよりよく保つために気を付けることについて学習することを知る。		
20分	「今日は、メールを使って友達と上手に付き合う方法を考えましょう」			
	2 情報モラルクイズの中から、友達関係にかかわる問題について考える。	自分たちが情報化社会の中にいることを意識付ける言葉かけをした上で、取り組ませる。 問題の中から「チェーンメールは遊びなので、仲のよい友だちなら送ってもよい」という問題と「電子メールに、他人の悪口を書いてもよい」という問題を取り上げて提示する。	よく考えながら取り組んでいるか、活動の様子からつかむ。	
「問題をよく読んで、自分ならどうするか考えてみましょう」				
情報モラルクイズ（中学年）				
チェーンメールは遊びなので、仲のよい友だちなら送ってもよい。 電子メールに他人の悪口を書いてもよい。				
15分	3 問題点や感想を基に、それが行われたらどうなるか話し合う。	学習プリントに、それぞれがいけない理由や、自分がその相手になったらどう感じるかなどを書かせる。 記入が進まない子どもには、問題の解説を読ませて参考にするようにさせる。 書いたことを順に発表させ、何が問題なのかをはっきりさせる。	よくない理由や、自分に向けられたときの感想などを考えられたか記入の様子や発表の様子からつかむ。	
		チェーンメールは相手の迷惑や心理的負担になること、電子メールによる悪口は、即いじめにつながることを、話し合いの中で意識付けする。		
		「チェーンメールを読んだ時にどういう気持ちになりましたか？」		
		「相手も同じ気持ちになるとすると、どう思いますか？」		
「自分の知らないところで悪口が書かれたメールが出回っているとしたらどう思いますか？」				
8分	4 学習のまとめをする。	友だち同士のやりとりの中でも、お互いに配慮しながら情報を扱っていくことの必要性に気付かせる。 情報を扱う際、相手がいることを常に意識し、その相手に思いやりをもってつきあって行くことの大切さを理解させ、プリントにまとめさせる。	チェーンメールや悪口のメールなどで友だちつきあいを悪くしないようにすることを意識できたか話し合いの様子からつかむ。	

情報のやりとりと友達関係 学習プリント

年 組 名前 ()

次の問題を読んで、自分の考えを書きましょう。

問1 チェーンメールは遊びなので、仲のよい友だちなら送ってもよい。

はい ・ いいえ

上のように考えた理由

問2 電子メールに、他人の悪口を書いてもよい。

はい ・ いいえ

上のように考えた理由

問3 電子メール（Eメール）を送るときに気を付けなくてはいけないことは何ですか？

問4 今日の授業の感想を聞かせてください。

(1) チェーンメールへの対応の仕方がわかりましたか？

よくわかった ・ だいたいわかった ・ あまりよくわからなかった ・ わからなかった

(2) 電子メール（Eメール）のルールやマナーについてわかりましたか？

よくわかった ・ だいたいわかった ・ あまりよくわからなかった ・ わからなかった

(3) 授業の受けてみて、チェーンメールや電子メールについて、考え方が変わった点
はありますか？

ある ・ ない

「ある」と答えた人は、どういう点が変わりましたか？